

平成 29 年度 事業計画

I 基本方針

シルバー事業は「自主・自立、共働・共助」を理念とし、臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務に係る就業を通して、高齢者の生きがいづくりと地域社会の活性化に貢献するものであります。

豊かな経験と労働能力を活用し積極的に社会参加を図りながら、自らの生きがいを充実させ、会員のたゆみない努力の中で、シルバー事業も広く地域に受け入れられ、着実に進展してまいりました。

しかし近年全国的には、12年連続で高齢者の就業者数が増加しているにもかかわらず、シルバー全体の会員数や契約高が伸び悩んでいます。平成28年6月に閣議決定された「ニッポン一億層活躍プラン」の高齢者の就労促進において、「日本には、アクティブシニアとも言われるように、元気で就労意欲にあふれ、豊かな経験と知識を持った高齢者が多数いるので、わが国の成長力を確保するためにも、高齢者の就業率を上げていくことが重要である。」と書かれており、シルバー人材センターへの期待が込められています。全国シルバーの平成29年度の事業目標も、① 会員数の増加(100万人指針)と、② 事業契約高の増大(派遣事業の推進)を2大目標に掲げています。

また、平成28年度は、市からの新しい受託事業「高齢者生活支援事業」①《ワンコインお助けサービス事業》と②《まごころで ちょいボラ・介護支援事業》が始まり、力を入れて活動し、それなりの実績が上げられたと自負しています。

そして、平成29年度は、さらに組織化して、グループ活動を計画しています。

そんな訳で、好調な 昨年 の運営形態を継続し、さらに、会員増と受託件数の増及び派遣事業の拡大を、重点目標とし運営に邁進してまいります。

そして、平成29年度は、魅力ある地域高齢者の就業の拠点として、次の事業計画を掲げシルバー事業を推進してまいります。

II 事業計画

- 1 公益社団法人として、国の「適正就業ガイドライン」を遵守した公正且つ適正な運営をし、受注の拡大と、会員の就業率のアップを図る。
- 2 国の施策 「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を積極的に取り組み、就業機会の拡大とシルバー派遣事業の業績アップを図る。
- 3 市からの受託事業、高齢者生活支援事業の推進。
- 4 会員の入会促進活動、会員増の活動。
- 5 役職員のスキルアップのための視察研修の実施。
- 6 安全就業の徹底と講習会の企画。
- 7 「自主・自立、共働・共助」の理念の推進と健康管理の啓発。
- 8 生きがいセンターの指定管理運営の充実。
- 9 ゴールド会員の活動の企画と実施。

Ⅲ 活動計画

- (1) 公益社団法人として、国の《適正就業ガイドライン》を遵守した、公正且つ適正な運営をし、受注の拡大と、会員の就業率アップを図る。
 - ① 発注者・事業主、就労者・会員、 労務管理者・役員職員の 3 部門に、それぞれの立場を周知、理解を図る。
 - ② 「就労意欲のある会員の就労支援」「高齢者の福祉活動と健康の増進」「地域社会の健全な発展に寄与」、の 3 つの理念を基に、公益目的事業を公平公正に推進する
 - ③ シルバー事業に関する、市民の認識と理解を深めるため、ホームページにより情報を発信する。

- (2) 国の施策「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を、積極的に取り組み就業機会の拡大とシルバー派遣事業の業績アップを図る。
 - ① 就業開拓員に、市内全域の事業者や個人宅を訪問し、蒲郡市シルバー人材センターの周知と就業の場の提供を得られるよう緻密に活動し、受注件数の拡大（前年比 5%増を目標）及び、就業機会の多様化を図り、受託事業実績を拡大（前年比 5%増を目標）する。
 - ② 派遣事業においては、積極的に推進し、派遣契約高を前年比 5%増を目標とし達成に努力する。

- (3) 市からの新受託事業、高齢者生活支援事業の実績アップ
 - (1)「ワンコインお助けサービス事業」と (2)「ちよいボラ介護施設支援事業」を推進するに当たり
 - ① シルバー会員による、30 分 500 円の軽作業を基本とし、地域の高齢者の生活を援助する。
 - ② 登録会員の技術講習会を催し、知識と接遇を養い、ボランティア会員を増やす。
 - ③ 各地域会員の配置をより一層強化し、会員が動きやすい体制をつくる。
 - ④ 市内全域に、周知、宣伝活動を実施する。

- (4) 会員の入会促進活動による会員増策の実施
 - ① 毎月第 2 火曜日に月例「入会説明会」を開催し、さらに年 2 回市内各地に出向き「出張入会説明会」を実施し、新規会員の増加促進を図り、年度末会員数 11%アップ 680 人を目標とする。
 - ② 市の「広報がまごおり」を活用し、シルバー人材センターの周知及び会員募集と、市民への仕事受注の広報記事を掲載する。
 - ③ 会員一人ひとりが営業マンとなり、地域住民に仕事の紹介をお願いすると共に、新会員の入会促進の一声運動を推進する。

- (5) 役職員のスキルアップのための視察研修を実施する。
- ① 意識改革を図るため、先進シルバーを視察研修する。
 - ② 新事業の立ち上げの研修をし、具体案を模索する。
- (6) 安全就業の徹底と講習会の企画
- ① 会員の安全な就業と事故防止を啓蒙し、愛知県シルバー人材センター連合会主催の「安全と事故防止」のキャンペーンに積極的に参加し無事故を目指す。
 - ② 職群別に安全就業の講習会を行なう。
特に技術職（剪定班・草刈り班等）の講習会を企画し、会員のスキルアップを図るとともに、安全就業のできる会員を育てる。
 - ③ 理事会・安全部会による安全パトロールの実施と、県主催の「飛び石事故防止キャンペーン」「類似事故防止キャンペーン」「草刈り班・剪定班・安全就業無事故キャンペーン」に参加し、賠償責任事故及び傷害事故の防止に努める。
 - ④ 熱中症予防や、蜂刺され情報等、健康のための情報を会員に周知する。
 - ⑤ 県シルバー発信の「週間事故報告」を活用し、事故防止策に役立てる。
- (7) 「自主・自立、共働・共助」の理念の推進と健康管理の啓発
- ① 会員組織の充実を図り、会員相互の親睦と連帯意識の高揚を図るため、会員親睦旅行を春と秋に分け、より参加会員が多くなるように実施する。
 - ② グラウンドゴルフ同好会や、太極拳同好会の活動を強化し、また新しいクラブ同好会を立ち上げ、会員の自主・自立を支援し会員の和を広める。
 - ③ 毎月の「事務局たより」等により健康啓発記事や安全スローガンを訴える。
 - ④ ボランティア活動を推進し、地域社会に貢献する。
- (8) 生きがいセンターの指定管理運営の充実
- 市民の豊かな人づくりのための生涯学習の場である「生きがいセンター」を、指定管理者として、利用者の立場に立った管理運営に努める。
- ① 館内ロビーにおいては、四季の催しや、会員、利用者の作品の発表の機会を提案し、来館者が気持ちよく利用してもらえるよう努力する。
 - ② 恒例となった「第8回 生きがいセンターまつり」を企画提案し施設利用者、当シルバー人材センターの会員、役員、職員及び、施設入居者オレンジホームとあすなろ教室並びに、近隣住民とのコミュニケーションを図ることを目的とし、共同参加で開催する。
 - ③ 利用者の利用に関するアンケート調査を実施し、可能な限りの改善に努める。
- (9) ゴールド会員制度の推進。
- ① ゴールド会員の活動を企画運営し、継続性を追及する。
 - ② ゴールド会員の、生きがいと健康の充実を図り、会の有意義性を高める。